



『おーいみえるかい』

五味太郎／作
教育画劇

表紙を見るとおや？誰も見えない。「おーい、ぼくだよ、みえるかい」。声の正体は小さなありでした。ページをめくるたびに画面がズームされていく楽しい絵本です。人間が見る世界、ありが見る世界、視点を変えてみると面白い世界が見えてきます。



『おおきなかぶ』

A.トルストイ／再話 内田莉莎子／訳
佐藤忠良／画
福音館書店

おじいさんがつくった大きなかぶ。とてもひとりでは抜けません。おばあさん呼んで、孫呼んで、いぬ、ねこ、ねずみも力をあわせて「うんとこしょどっこいしょ」。掛け声のリズムも楽しいロシアのお話です。



『おじいちゃんのごくらくごくらく』

西本鶏介／作 長谷川義史／絵
鈴木出版

「ごくらくごくらく」。お風呂に入って、おじいちゃんのごくせを言うたびあたたかい気持ちになるゆうた。大事な人がいなくなっても、思い出をたくさん持っている事が幸せなのだと感じさせてくれます。



『おばけでんしゃ』

内田麟太郎／文 西村繁男／絵
童心社

妖怪駅を出発したへんな形の「おばけでんしゃ」。停車する駅や車内にも色々な妖怪やおばけがいっぱい。おばけが好きな子どもから、妖怪好きな大人にもオススメ。1ページごと絵をよ〜く見てみると…発見!?